

令和 7 年度

9 月定例教育委員会

会 議 録

(公 開)

令和 7 年 9 月 2 5 日

1 開 会 14時00分

教育長から、「議題第18号」及び「議題第19号」については、個人情報が含まれるものであることから、非公開での審議が適当である旨の提案がなされ、出席者全員で異議なく決定した。

2 前回の会議録の承認

教育長から、令和7年度8月定例教育委員会の公開部分の会議録の承認について諮られ、出席者全員で異議なく承認した。

3 議 事

◎ 臨時代理報告第4号

県議会に提出する教育に関する事務に係る議案について

**教育政策課長、高校教育課長、教職員課長、特別支援教育課長、
スポーツ振興課長**

(資料に沿って説明)

説明は以上です。

教育長

この件に関して、御意見、御質問等ありませんか。

木村委員

県立学校給食等の緊急支援事業につきまして、何校でどの程度の規模を想定されているのでしょうか。

高校教育課長

県立高等学校につきましては、学校寮3校、地区生徒寮6か所が対象でございます。県立校等学校定時制である宮崎東高等学校につきましては、支援が必要ないということでした。

特別支援教育課長

特別支援学校につきましては、県内に13校ございますが、小林こすもす支援学校は小林の給食センターより配給しておりますので、それ以外の12校が対象です。小林の給食センターについては、値上げはしないということでした。

義務教育課長

県立中等教育学校は、五ヶ瀬中等教育学校でございますが、給食費と寮の食費が対象でございます。

木村委員

ほとんどの県立学校については、保護者が毎日弁当を作っている
ので、物価高騰の影響を感じているのではないかと思います。もし
かしたら、物価高騰の影響を負担に感じている家庭もあるかもしれ
ませんので、全ての生徒に対して公平な支援や補助等について願
いしたいと思います。

松山郁子委員

生成 AI 活用事業については、新事業ということで、パイロット
校による事例の創出とありますが、その成果指標が１３％から１年
で９０％に設定されている目標に関し、記載された事業内容でどの
ようにして達成されるのか教えてください。

教育政策課長

１３％の数字については、今年度各学校に調査したところ、「ほ
ぼ全員が生成 AI を活用している」とした割合が１．８％です。ま
た、「半分以上の教職員が生成 AI を活用している」と回答した割
合が１０．７％でございました。それ以外に、「一部の職員のみが
生成 AI を活用している」とした割合がおよそ７７％で、「生成 AI
を全く活用していない」とする割合が残りの１０％でございま
す。令和８年度の９０％につきましては、７７％の割合である「一
部の職員のみが生成 AI を活用している」現状を、「半分以上の教
職員が生成 AI を活用している」に引き上げる目標設定としてお
ります。具体的には、パイロット校におきまして、まずは文書作
成の支援ということで授業計画や教材作成、保護者や生徒への
案内文書作成に生成 AI を活用していきます。その取組につい
て、パイロット校以外の県立学校に対して、有効な事例を研修
等で広く紹介していくことで目標を達成していきたいと考えて
おります。

松山郁子委員

成果指標は、県立高等学校全体での割合という捉えでよろし
かったでしょうか。

教育政策課長

県内の県立高等学校、特別支援学校を含めて９０％と設定
しております。

松山郁子委員

かなりの割合でアップしなければ、成果指標は達成できないのではないかと思います。パイロット校だけでなく、普及に関して注力されるということでしたので、事業の普及について力を入れていただきたいと思います。

柳委員

生成 AI の活用はいろいろなことが便利になりますが、ある程度のモデル構築ができたなら早い段階で全体に伝えることが大事になってくると思います。成果報告会や研修を予定されていますが、できる限り早く活用できることが学校として便利さを感じ、みんなで使っていこうという機運を高めると思います。

教育政策課長

委員がおっしゃるとおり、スピード感をもって取り組むべき課題だと認識しております。生成 AI は有償版や無償版などがありますが、無償版でも広く活用できるという点を意識した取組を行っていきたいと考えております。

森山委員

生成 AI の導入については喫緊の課題だと思います。その中で、生成 AI パイロット校 2 校を指定して検証事業を進めていくということですが、2 校とはいえ内容が盛りだくさんであり、成果指標も高いと感じます。これを 70 万円の予算で取り組むということですが、予算の詳細等が分かれば教えていただけるでしょうか。

教育政策課長

70 万円の内訳ですが、旅費が 58 万円、役務費として 12 万円でございます。旅費については、パイロット校の職員が先進的な取組を視察するために企業や学校を訪問したり、研修や会議に参加したりするためのものです。役務費については、生成 AI のスキルアップ講座のライセンス料でございます。限られた予算の中で、広く様々な知見や先進事例を集め、学校内で取り組んでいきながら成果を出していきたいと考えております。

松山竜也委員

生成 AI の活用に関する事業自体は、教職員の業務の効率化や働き方改革につながる一方で、生成 AI は検索エンジンと違ってプロンプトの出し方次第で回答が大きく変わります。思うような回答が

得られないことが、かえって負担と感じる先生方、さらに個人情報や重要な情報を扱う際の情報リテラシーや情報流出の恐れについて、心理的な抵抗感をもつ先生方も一定数いらっしゃると思います。教職員の中には、50代の離職が増えているという話を聞きましたが、そのような方々の立場も考慮しつつ、過度な負担にならないように成果指標に向けて丁寧に進めていただきたいと思います。

教育政策課長

委員がおっしゃるとおり、生成 AI については活用次第であり、リスクの部分もあると認識しております。県教育委員会としては、教育情報セキュリティポリシーを定めており、また国も初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドラインを定めておりますので、その内容に沿って進めていく予定でございます。特に個人情報の取扱いにつきましては、パイロット校と協議していきたいと考えております。生成 AI に関するリテラシーや活用のスキルについても個人差がありますので、先生方の過度な負担にならないようしっかり確認しながら進めていきたいと考えております。

松山竜也委員

この事業は、国のリーディング DX に係る事業でしょうか。それとも県独自の事業でしょうか。

教育政策課長

国の事業が打ち出された後に、学校側からこの事業に取り組みたいという声があがったところが、延岡星雲高校と小林秀峰高校の2校でしたので、国に申請したところです。

森山委員

給与システムについてお聞きします。職員の旅費に関する条例改正により県旅費システムの改修が行われることに伴う市町村立学校旅費計算 Excel ツールの改修について、1000万円以上かかるということですが、この Excel ツールの改修について詳しく教えていただけるでしょうか。

教職員課長

県立学校については、財務会計システムと申しまして、県のシステムにより旅費計算等を管理しております。しかし、市町村立の学校についてのシステムが構築されたのは、つい最近の令和5年でございます。それまでは、手計算や共同学校事務室などで確認しながら

ら行っておりました。また、各市町村が使用していたツールが異なっていたことから、それらをまとめることが厳しい状況にありましたが、そのツールの構築に２７００万円をかけて、令和５年度に本格的に始動したところです。今回、国の法律が改正されたことに伴い、本県の条例も改正したことを受け、そのシステムの再構築に必要な予算額となったところです。

教育長

よろしいですか。

それでは、この件については、報告のとおり承認とさせていただきます。

◎ 次回会議の日程等について

教育長

それでは、次回定例会は、１０月１６日、木曜日、１４時からとなっておりますのでよろしくお願いします。

これより後、会議冒頭の決議により非公開とします。

傍聴者の方は、御退席をお願いします。

（１４：３５終了）